

【本資料に関する説明】

本資料は「泡消火薬剤の技術上の基準を定める省令（昭和50年自治省令第26号）」にて認証を受けた泡消火薬剤について、メーカー別に一覧にまとめたものです。（認証を受けていないものは除いていますが、P F O Sを含有している5製品については例外として掲載しています。）

近年、泡消火薬剤については、消防法以外にも化学物質に関する国際条約の締結に基づき「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（昭和48年法律第117号）（以下、「化審法」と表記）」に代表される各国内法の適用を受けるものが出てきています。これは、2010年に施行された化審法施行令の改正により「P F O S又はその塩（以下、P F O Sと表記）」が第一種特定化学物質に指定されたこと、同様に2021年に「P F O A又はその塩（以下、P F O Aと表記）」が第一種特定化学物質に指定されたことによります。

また、2023年12月1日に「P F H x S若しくはその異性体又はこれらの塩」が第一種特定化学物質に指定されました。

今後は、「P F O A関連物質」、「P F H x S関連物質」の規制が予定されており、泡消火薬剤の取り扱いが次々と変わっていく可能性があります。

このような状況を受け、当工業会では各泡消火薬剤の各種法令上の取り扱いについて、可能な限りシンプルに取りまとめました。記載している内容は、日本消火装置工業会に所属している各企業の協力を得て整理しています。また、現在は所属していないものの以前に所属していた企業の商品についても可能な限り記載しています。

なお、本資料の記載内容は発行日時点で当工業会にて確認できた情報に基づいています。情報の更新に伴い、本資料も予告なく更新される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

【表中の用語説明】

1. 型式番号

国家検定合格時に与えられる消防法上の識別番号です。

2. 社名・旧社名

型式を保有している企業の現社名です。型式取得時に現在と異なる社名であった場合には旧社名をカッコ書きにて併記しています。

3. 型式

泡消火薬剤の種類です。

4. 商品名

泡消火薬剤の商品名です。

5. 販売状況

泡消火薬剤が本資料の日付時点において販売しているか否かを示します。

6. S D Sの有無

S D S（安全データシート：旧M S D S）の有無を示します。販売会社の撤退等で入手できない場合や、最新のS D S制度に適合していない場合があります。

7. 有機フッ素化合物の使用

原料として有機フッ素化合物を使用しているかどうかを示します。泡消火薬剤に使用される有機フッ素化合物には様々なものがあるため、有機フッ素化合物を使用している場合において必ずしもP F O SやP F O Aを含有しているとは限りません。「なし」の場合は有機フッ素化合物を使用していないため、原料由来の有機フッ素化合物を含有しません。

【表中の用語説明(つづき)】

8. P F O A等のB A T報告

原料として有機フッ素化合物を使用している場合はそのB A T報告状況を示します。有機フッ素化合物を使用していない場合や有機フッ素化合物を使用しているがP F O A等が含有しない場合、既に生産終了しているなどB A T報告そのものが不要な商品は「不要」と表記しています。

※B A Tとは、泡消火薬剤の原料の一つとして有機フッ素化合物を使用する場合において、副生物として微量な第一種特定化学物質（P F O A等）が含まれていることがあります。その副生P F O A等を工業技術的・経済的に可能なレベルまで低減し常に品質を維持管理することをいいます。低減したこと等を関係省庁に報告し受理された場合には、副生P F O A等を化審法の規制対象として取り扱わない運用を行います。

B A T報告が済んでいる有機フッ素化合物は今後も製造が行えるので、それを使用した泡消火薬剤も継続して製造・販売が可能です。なお、泡消火薬剤で使用している有機フッ素化合物でB A T報告済みのものはP F O Aを対象としたもののみです。P F O SやP F H x SについてB A T報告を行なった泡消火薬剤は調査した範囲ではありません。

9. 化審法の規制

本資料の日付時点において化審法の規制対象になるかどうかを判明した範囲で示しています。法改正等により変更になる場合があります。

- ・P F O Sにより規制対象となっている泡消火薬剤：28製品
- ・P F O Aにより規制対象となっている泡消火薬剤：8製品
- ・P F H x Sにより規制対象となっている泡消火薬剤：なし

10. 水濁法の規制

水質汚濁防止法（水濁法）の規制により、泡消火薬剤は「①製造時期によらず全て対象となるもの」、「②製造時期によらず全て対象外となるもの」、「③製造時期により対象または対象外となるもの」の3種類に分かれます。

- ①の例：「化審法の規制対象となっている泡消火薬剤」
「P F O SやP F O A以外の水濁法の指定物質を使用している泡消火薬剤」
「P F O Aを副生物として含有していて既に生産終了しているため或いはその他の理由によりB A T報告がされていない泡消火薬剤」
- ②の例：「有機フッ素化合物を使用していない泡消火薬剤」
「有機フッ素化合物を使用しているがP F O SやP F O Aを含有していない泡消火薬剤」
- ③の例：「P F O AについてB A T報告された有機フッ素化合物を使用している泡消火薬剤」
（B A T報告前のもの：対象、B A T報告後のもの：対象外）

11. 廃棄処理方法

泡消火薬剤および泡水溶液を廃棄する場合は産業廃棄物として適切に処理してください。点検や訓練で使用した場合も、産業廃棄物として回収・処理するようにしてください。

一部の泡消火薬剤は、環境省が2022年9月に策定した「P F O S及びP F O A含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項」に基づき処理すべき泡消火薬剤に該当します。製造時期によっても対応が異なりますので、注意して下さい。

※「技術的留意事項」では対象となる廃棄物を「P F O S等又はP F O A等を含有する固形状又は液状の廃棄物」と定義しており、対象となるか判断基準となる含有濃度を1 μ g/L（＝1 ppb）を超えるものとしています。
また、技術的留意事項では分解処理を行わずに処分することは不適切と示されており、薄めるだけでは適切な廃棄処理とは見なされません。
※活性汚泥処理など他の方法では有機フッ素化合物を有効に分解できない可能性があります。

その他

資料の中で青色塗りとなっている泡消火薬剤は、現在日本消火装置工業会に所属していない企業もしくは日本消火装置工業会に所属しているが第二部会（泡系消火設備を検討する部会）に参画していない企業の泡消火薬剤であることを示しています。

化審法や水濁法、廃棄物処理の技術的留意事項では、それぞれの法律等の目的が異なるため、各法律が適用される判断基準が異なります。そ

№	1. 社名	2. 型式番号	3. 型式	4. 商品名	5. 販売状況	6. SDS (旧MSDS) の有無	7. 有機フッ素 化合物の使用	8. PF0A等の BAT報告	9. 化審法の 規制	10. 水濁法の規制		11. 廃棄処理方法			備考
										対象に なるもの	対象外に なるもの	技術的留意事項 等に従うもの	焼却処理を 推奨	その他の 処理方法あり	
1	ヤマトエンジニアリング(株)	泡第 15～4号	水成膜泡 3% (-10℃～+30℃)	GFフォーム	生産終了	あり	あり	報告予定 なし	対象 (PFOS)	全て対象	なし	全て対象	—	—	
2	ヤマトプロテック(株) (ヤマト消火器(株))	泡第 51～1号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)	ヤマトエアフォーム310	生産終了	あり	なし	不要	対象外	なし	全て	—	—	○	
3	ヤマトプロテック(株) (ヤマト消火器(株))	泡第 51～9号	合成界面活性剤泡 3% (-5℃～+30℃)	ブロフォーム305	販売中	あり	なし	不要	対象外	なし	全て	—	—	○	
4	ヤマトプロテック(株) (ヤマト消火器(株))	泡第 51～20号	たん白泡 6% (-10℃～+30℃)	ヤマトエアフォーム610	販売中	あり	なし	不要	対象外	なし	全て	—	—	○	
5	ヤマトプロテック(株) (ヤマト消火器(株))	泡第 51～24号	合成界面活性剤泡 3% (-10℃～+30℃)	ブロフォーム310	販売中	あり	なし	不要	対象外	なし	全て	—	—	○	
6	ヤマトプロテック(株) (ヤマト消火器(株))	泡第 59～1号	たん白泡 3% (-20℃～+30℃)	ヤマトエアフォーム320	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	なし	全て	調査中	調査中	—	

No.	1. 社名	2. 型式番号	3. 型式	4. 商品名	5. 販売状況	6. SDS (旧MSDS) の有無	7. 有機フッ素 化合物の使用	8. PF0A等の BAT報告	9. 化審法の 規制	10. 水濁法の規制		11. 廃棄処理方法			備考
										対象に なるもの	対象外に なるもの	技術的留意事項 等に従うもの	焼却処理を 推奨	その他の 処理方法あり	
7	ヤマトプロテック(株) (ヤマト消火器(株))	泡第 59～4号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)	ニューマイティフォーム	販売中	あり	あり	不要	対象外	なし	全て	—	全て	—	
8	ヤマトプロテック(株) (ヤマト消火器(株))	泡第 60～6号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)	ヤマトエアフォーム310	販売中	あり	なし	不要	対象外	なし	全て	—	—	○	
9	ヤマトプロテック(株)	泡第 3～2号	水成膜泡 3% (-20℃～+30℃)	アルファフォーム	生産終了	あり	あり	報告予定 なし	対象外	全て対象	なし	全て対象	—	—	
10	ヤマトプロテック(株)	泡第 3～3号	水成膜泡 3% (-10℃～+30℃)	アルファフォーム	生産終了	あり	あり	報告予定 なし	対象外	全て対象	なし	全て対象	—	—	
11	ヤマトプロテック(株)	泡第 3～4号	水成膜泡 6% (-5℃～+30℃)	アルファフォーム	生産終了	あり	あり	報告予定 なし	対象外	全て対象	なし	全て対象	—	—	
12	ヤマトプロテック(株)	泡第 3～8号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)	マイティフォーム3610	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	2019年4月 以前に製造したもの	2019年5月 以降に製造したもの	2019年4月 以前に製造したもの	2019年5月 以降に製造したもの	—	
13	ヤマトプロテック(株)	泡第 9～4号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)	マイティフォーム3310	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	2019年4月 以前に製造したもの	2019年5月 以降に製造したもの	2019年4月 以前に製造したもの	2019年5月 以降に製造したもの	—	
14	ヤマトプロテック(株)	泡第 10～1号	水成膜泡 3% (-10℃～+30℃)	アルファフォーム310	生産終了	あり	あり	報告予定 なし	対象 (PFOS)	全て対象	なし	全て対象	—	—	
15	ヤマトプロテック(株)	泡第 11～2号	水成膜泡 3% (-20℃～+30℃)	アルファフォーム320	生産終了	あり	あり	報告予定 なし	対象 (PFOS)	全て対象	なし	全て対象	—	—	
16	ヤマトプロテック(株)	泡第 11～4号	たん白泡 3% (-20℃～+30℃)	マイティフォーム3620	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	2019年4月 以前に製造したもの	2019年5月 以降に製造したもの	2019年4月 以前に製造したもの	2019年5月 以降に製造したもの	—	
17	ヤマトプロテック(株)	泡第 11～5号	水成膜泡 6% (-5℃～+30℃)	アルファフォーム605	生産終了	あり	あり	報告予定 なし	対象 (PFOS)	全て対象	なし	全て対象	—	—	
18	ヤマトプロテック(株)	泡第 14～1号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)	ヤマトエコフォーム2&3	生産実績なし 生産終了	あり	あり	報告予定 なし	対象外	なし	全て	—	—	—	
19	ヤマトプロテック(株)	泡第 19～1号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)		生産実績なし 生産終了	なし	なし	不要	対象外	なし	全て	—	—	—	
20	ヤマトプロテック(株)	泡第 19～2号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)		生産実績なし 生産終了	なし	あり	報告済み	対象外	なし	全て	—	—	—	
21	ヤマトプロテック(株)	泡第 19～3号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)		生産実績なし 生産終了	なし	あり	報告済み	対象外	なし	全て	—	—	—	
22	ヤマトプロテック(株)	泡第 19～4号	たん白泡 3% (-20℃～+30℃)		生産実績なし 生産終了	なし	なし	不要	対象外	なし	全て	—	—	—	
23	ヤマトプロテック(株)	泡第 19～5号	たん白泡 6% (-10℃～+30℃)		生産実績なし 生産終了	なし	なし	不要	対象外	なし	全て	—	—	—	
24	ヤマトプロテック(株)	泡第 19～16号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)		生産実績なし 生産終了	なし	あり	不要	対象外	なし	全て	—	—	—	
25	ヤマトプロテック(株)	泡第 19～17号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)		生産実績なし 生産終了	なし	あり	不要	対象外	なし	全て	—	—	—	
26	ヤマトプロテック(株)	泡第 19～18号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)		生産実績なし 生産終了	なし	あり	不要	対象外	なし	全て	—	—	—	
27	ヤマトプロテック(株)	泡第 19～26号	水成膜泡 3% (-10℃～+30℃)	アルファフォーム310R	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	2020年10月 以前に製造したもの	2020年11月 以降に製造したもの	2020年10月 以前に製造したもの	2020年11月 以降に製造したもの	—	
28	ヤマトプロテック(株)	泡第 21～2号	水成膜泡 1% (大容量泡放水砲用) (-10℃～+30℃)		生産実績なし	あり	あり	報告済み	対象外	なし	全て	全て対象	—	—	
29	ヤマトプロテック(株)	泡第 23～3号	合成界面活性剤泡 3% (-10℃～+30℃)	プロフォーム310T	販売中	あり	なし	不要	対象外	なし	全て	—	—	○	
30	ヤマトプロテック(株)	泡第 23～5号	水成膜泡 2% (-10℃～+30℃)	アルファフォーム210R	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	2021年1月 以前に製造したもの	2021年2月 以降に製造したもの	2021年1月 以前に製造したもの	2021年2月 以降に製造したもの	—	
31	ヤマトプロテック(株)	泡第 27～4号	合成界面活性剤泡 3% (-5℃～+30℃)	ニュープロフォーム3305A	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	全て対象	なし	2021年9月 以前に製造したもの	2021年10月 以降に製造したもの	—	
32	ヤマトプロテック(株)	泡第 27～5号	水成膜泡 3% (-10℃～+30℃)	ニューアルファフォーム3310A	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	全て対象	なし	2021年9月 以前に製造したもの	2021年10月 以降に製造したもの	—	
33	ヤマトプロテック(株)	泡第 27～7号	水成膜泡 3% (-10℃～+30℃)		生産実績なし 生産終了	なし	あり	報告済み	対象外	なし	全て	—	—	—	
34	ヤマトプロテック(株)	泡第 27～8号	水成膜泡 1% (-10℃～+30℃)	アルファフォーム110R	生産実績なし	あり	あり	報告済み	対象外	なし	全て	全て対象	—	—	
35	ヤマトプロテック(株)	泡第 27～10号	水成膜泡 3% (-20℃～+30℃)	アルファフォーム320R	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	2020年11月 以前に製造したもの	2020年12月 以降に製造したもの	2020年11月 以前に製造したもの	2020年12月 以降に製造したもの	—	
36	ヤマトプロテック(株)	泡第 30～2号	水成膜泡 3% (-10℃～+30℃)	アルファフォーム310X	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	2020年9月 以前に製造したもの	2020年10月 以降に製造したもの	2020年9月 以前に製造したもの	2020年10月 以降に製造したもの	—	
37	ヤマトプロテック(株)	泡第 30～4号	水成膜泡 3% (-10℃～+30℃)	ネオアルファフォーム3310	生産終了	あり	あり	報告済み	対象外	2021年4月 以前に製造したもの	2021年5月 以降に製造したもの	2021年4月 以前に製造したもの	2021年5月 以降に製造したもの	—	
38	ヤマトプロテック(株)	泡第 2020～2号	水成膜泡 3% (-20℃～+30℃)	アルファフォーム320X	販売中	あり	あり	報告済み	対象外	2020年11月 以前に製造したもの	2020年12月 以降に製造したもの	2020年11月 以前に製造したもの	2020年12月 以降に製造したもの	—	
39	YSB(株)	泡第 27～6号	たん白泡 3% (-10℃～+30℃)		販売中	あり	あり	報告済み	対象外	2019年4月 以前に製造したもの	2019年5月 以降に製造したもの	2019年4月 以前に製造したもの	2019年5月 以降に製造したもの	—	